

令和4年度 第3回学校運営協議会記録

1. 日時 令和5年2月13日(月) 14:20~15:30
2. 場所 本校校長室
3. 出席者 大阪教育大学 廣木義久 理事・副学長
八尾市立成法中学校 柿並祥之 校長
八尾市立八尾小学校 菊池妙子 校長
本校同窓会 松村康隆 副会長
本校PTA 西郡武吏 会長
※児玉 隆 委員/副委員長(学習塾代表)は公務により欠席
本校
山上校長 伊藤事務長 中村教頭 中出首席 水野首席 山村進路指導部長

4. 内容

次の項目について事務局の説明を行い、そのうえで委員による協議。

- ・『令和4年度学校評価』『令和5年度学校経営計画』について
- ・令和4年度学校教育自己診断結果分析
- ・令和4年度授業アンケート結果について
- ・75期生徒の共通テスト及び国公立大学、私立大学の出願数及び合否について
- ・人事に関する意見や要望について

協議における委員の主な意見等は次のとおり。

- 学校教育自己診断において生徒の評価が高いことは素晴らしい。
- 学校教育自己診断で、生徒の評価があがっている一方で保護者の評価が下がっているのは残念であるが、これは生徒の部活動などでの帰宅時間が遅くなることで保護者と学校のことを話しする時間が減っていることが影響しているのではないかと。生徒からではなく、学校から保護者へのアプローチする仕組みを作ることによって学校の教育活動を知ってもらったり、ホームページを更新し、みてもらうことでもう少し評価が上がるのではないかと。
- 生徒の評価があがっているが、保護者へ情報が伝わっていないことが原因で、保護者の評価が下がっているのはもったいないように思う。
- 保護者のホームページの閲覧が少ないようだが、PTAの役員などにもアドバイスをもらい、保護者のニーズなどを把握することも必要ではないかと。
- PTAの活動している中でも、ホームページをみる保護者とみていない保護者が二極化している。